

本水洗切替部品セット
APH-Z71

施工説明書

FZ500・FZ400 専用

施工前に、この施工説明書をよくお読みのうえ正しく施工してください。
この説明書は、お客様に事故のないよう施工上の注意事項を区分してあげております。

用語および記号の説明

警告	守らないと、重傷を負うことがあります。		「してはいけません」 (一般的な禁止記号)
注意	守らないと、ケガや家財に損害を与えることがあります。		「指示通りにしない」 (一般的な行動指示記号)

特に注意していただきたいこと

警告	浴室など湿気が多い場所には使わないでください。 火災や感電の原因となります。
注意	施工後、便器や給排水配管からの漏水がないことを点検してください。 漏水すると、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。 この施工説明書以外の改造はしないでください。 故障や漏水などの事故の原因となります。 便器の排水管勾配は1/100以上としてください。 洗浄不良や配管詰まりなどで家財を濡らす原因となります。

その他のご注意

- この本水洗切替部品セットは、クリーンフラッシュFZ500・FZ400専用で他の便器には取り付けませんのでご注意ください。
- コンクリート便槽、直下型便槽、無臭便槽の場合、床下の配管をすべて改造する必要がありますのでご注意ください。
- 深埋め便槽など導入管(横引き管)の位置が低く配管されているとき、下水道や浄化槽までの配管が逆勾配となる場合があります。そのときは、基礎を削って適正な勾配になるように導入管(横引き管)をカットしてください。
- 凍結の恐れのあるときは、凍結防止ヒーターの利用、ロータンクの水抜き、室内暖房など適切な処置を行ってください。
- 床面は水平で平らになっていることを確認してください。
便器のガタつきがあると漏水の原因となります。
- ねじは締め過ぎないようにしてください。特に、陶器に対しては注意してください。
陶器が割れたり、ケガをする原因となります。
- 電気配線は、必ず専門の電気工事店で行ってください。
- 屋外オーバーフロー配管は、浄化槽や下水道に接続しないでください。トイレ内に臭気が上がります。

施工の前に

■梱包内容を確認してください。

①	トラップ(ガスケット付)	1
②	ロータンクバルブ	1
③	水洗用ノズル	1
④	補給水ゴム管(クリップ付)	1
⑤	キャップ	1
⑥	フランジ(パッキン付)	1
⑦	ゴム栓	1
⑧	メクラ板	1
⑨	タッピングネジ	3
⑩	ホルダー組	3
⑪	水量調整コマ、ラベル	1



■別途用意していただくもの

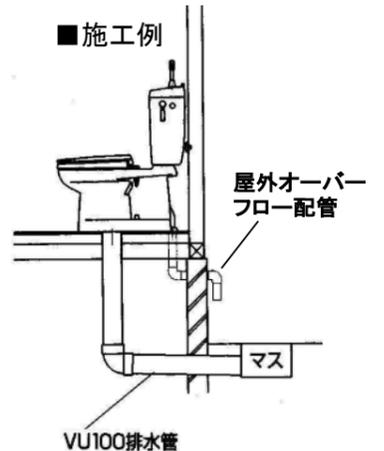
- コーキング材
- 必要な工具
ドライバー(+)(-)、ノコギリ
自在スパナ(モンキーレンチ)、スパナ(13)

便器が
2005年11月以前の製品は
⑨タッピングネジを使用
2005年11月以降の製品は
⑩ホルダー組を使用

床下の配管工事

- 既設の床下配管が使われる場合は、各自治体へ確認してください。
- 便器の床フランジへの接続は、VU100塩ビ管(JIS規格品)を使用してください。
- コンクリート便槽、直下型便槽、無臭便槽の場合、床下の配管をすべて改造する必要がありますのでご注意ください。
- 深埋め便槽など導入管(横引き管)の位置が低く配管されているとき、下水道や浄化槽までの配管が逆勾配となる場合があります。そのときは、基礎を削って適正な勾配になるように導入管(横引き管)をカットしてください。
- 屋外オーバーフロー配管は、浄化槽や下水道に接続しないでください。トイレ内に臭気が上がります。

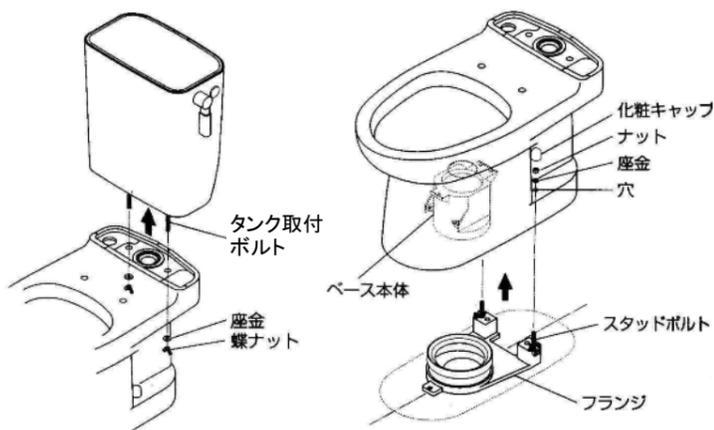
■施工例



施工の手順

1 便器の取り外し

- ①止水栓を閉める。
- ②ロータンクのフタを外す。
手洗付の場合は手洗栓を外す。
- ③給水管の袋ナットを外す。
- ④ロータンクの水抜きをする。
- ⑤ロッドを接続している割りピンを外してロッドを外す。
- ⑥継ぎタシ管を外し、撤去する。
- ⑦タンク取付ナットを外してロータンクを取り外す。
- ⑧便座を外す。
- ⑨化粧キャップを取り、便器固定のナットを外して便器を取り外す。



便器が2005年11月以降の製品の時ホルダー組(3ヶ)を使用してください。



ベースを取り外したあとのシリコンシーラントは、キレイに取り除いてから再度同じところにシリコンシーラントを塗ってトラップを取り付けてください。シリコンシーラントの塊が残っていると漏水の原因となります。
注)ベースと陶器の間は必ず取り除いてください。

2 便器の変更

- ①ナットをゆるめ、ロットを外す。
 - ②ブラケットを外す。
 - ③ベース、リップゴム、リップゴム押えを外す。
 - ④トラップにガスケット(発泡ゴム)が付いていることを確認し、付属のネジ3本でトラップを取り付ける。
 - ⑤ノズルを取り替える。
- (注) ネジ3本は均等に3回以上に分けてトラップがベース取付板に当たるまで締めてください。
ベース ベース取付板
リップゴム押さえ
リップゴム
トラップ
- (注)必ず、外してください。付いたままでは、詰りの原因となります。
(注)トラップのガスケットが当たる部分は取り付ける前にきれいに拭いてください。汚れたままや異物が付いたままでは漏水の原因となります。

⑥変更後、便器の下にダンボール又は新聞紙を敷き、便器ボール面のトラップの接続部から2~3cm上まで水を溜めて施工手順に従い、便器据付まで漏水検査を行ってください。

3 ロータンクの変更

樹脂製ボールタップの場合

③ロータンクバルブを外す。

④水洗用ロータンクバルブを取り付ける。

⑤ボールタップ先端のネジを外す

⑥補給水ゴム管を差し込む。

⑦補給水ゴム管をオーバーフロー管に差し込みクリップで固定する。

⑧水量コマを取り替える

⑨簡水の操作ラベル(洗浄・補水)をはがし、同じ場所に同梱の大・小ラベルを貼る

①端金を外す。

②ロッドを外す。

⑦補給水ゴム管が、オーバーフロー管に差し込まれていなかったり、クリップが固定されていないと、不具合の原因となります。

※水量調整コマCが一体型(ネジ2本無し)は、そのまま水量調整コマを取り付けてください。 ※取付の向きに注意

ネジを外す。左給水の際は反対側のネジを使う。

補給水ゴム管を差し込む。

2010年4月以降のボールタップ

使う方の穴をφ3ドリルで貫通する。

(注) 貫通した先の壁を削らないようにしてください。漏水や凍結割れの原因になります。

4 床フランジの変更

- ①又は②のいずれかで床フランジの変更を行ってください。
- ①付属の床フランジに取り替える。
- ②既設の床フランジをカットし、付属の床フランジに付いているパッキンを取り付ける。

①又は②のいずれかで床フランジの変更を行ってください。

①付属の床フランジに取り替える。

②既設の床フランジをカットし、付属の床フランジに付いているパッキンを取り付ける。

便器にトラップを取付後、漏水検査として放置していた便器の漏水の有無の点検を行ってください。

便器の下から手を入れてベース取付板の下のトラップが濡れていないかを全周点検してください。

この辺を手で確認

5 便器の据付

- ①便器本体を据え付け、便器固定のナットを締め付け、化粧キャップを付ける。

②ロータンクを取り付ける。ロータンクがガタつかないことを確認してください。

③給水管を接続する。

④ロータンクのフタを乗せる。手洗付の場合は、手洗栓を取り付ける。

⑤止水栓を開いてロータンクに水を入れる。

⑥ボールタップの水位調整

樹脂ボールタップの場合

⑦付属のゴム栓で便器オーバーフローをメクラにする。更に上からシリコンシーラントでメクラにしてください。

⑧付属のメクラ板で屋外塩ビ管の穴をメクラにする。メクラ板: φ61mm、厚み2mm、白、片面テープ付き

⑨便座を取り付ける。

メクラ板(付属)

屋外塩ビ管

- ②ロータンクを取り付ける。ロータンクがガタつかないことを確認してください。

タンク取付ボルト

座金

蝶ナット

- ③給水管を接続する。

パッキン(フランジ付)

給水管

- ⑥ボールタップの水位調整

樹脂ボールタップの場合

水位調整軸

浮玉

固定ピン

ロータンク内の水位を調整してください。

- ① 固定ピンの爪を広げて水位調整軸の穴から外す。
- ② 浮玉を上下に移動する。穴ピッチ6mm
- ③ 固定ピンを穴に差し込む。

上から10番目までの穴で水位調整を行ってください。

上から11番目の穴より下の穴は絶交に使わないでください。浮玉が吐水管から外れて水が止まらなくなります。

金属ボールタップの場合ネジで水位を調整する。

水位

オーバーフロー管

〈水勢の調節〉

手で浮玉をボールタップが全開になるまで押し下げて、オーバーフロー管へ水をあふれさせます。このとき、水面が、オーバーフロー管より約10mm以上、上昇しないように、止水栓の開閉を必ず調節してください。調節しないと、故障の時オーバーフローしきれず、ロータンクから水があふれ、床が水浸しになります。

6 点検

レバーハンドルを操作して洗浄水の流れ状態各部の漏水の有無を点検してください。レバーハンドルを引いてフロート弁が浮き上りロータンクの水が流れ出て閉まる状態にしてください。直ぐに閉まるときは、クサリのフックを外して長さを短く調整してください。

クサリ

フロート弁

シリコンシーラントでメクラ

シリコンシーラント

ゴム栓(付属)

- ⑦付属のゴム栓で便器オーバーフローをメクラにする。更に上からシリコンシーラントでメクラにしてください。
- ⑧付属のメクラ板で屋外塩ビ管の穴をメクラにする。メクラ板: φ61mm、厚み2mm、白、片面テープ付き
- ⑨便座を取り付ける。

メクラ板(付属)

屋外塩ビ管